

HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 v 1.00 リリースノート

HP 部品番号: 616296-191
2010 年 3 月
第 1 版



© Copyright 2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HP から使用許諾を得る必要があります。その保有、使用、または複製には、HP から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。HP 製品に対する保証については、当該製品の保証規定書に記載されています。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft Windows は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Java は、Sun Microsystems, Inc の米国における商標です。

リビジョン履歴

製品番号	サポートされるバージョン	改版番号	改版日
616296-191	バージョン 1.00	1	2010 年 3 月

HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 v 1.00 の概要

HP iLO3を使用すると、サーバーをリモートで設定、更新、および操作することができます。iLO 3は、ブラウザーベースのインターフェイスまたはRBSUで使用できます。詳しくは、『HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 v 1.00 ユーザー ガイド』を参照してください。多数のツールおよび構文がiLO3をサポートします。詳しくは、『HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 v 1.00 スクリプティング/コマンド ライン ガイド』を参照してください。iLO 3の一部の機能はライセンスが必要な機能であるため、オプションのライセンスを購入しないと使用できません。詳しくは、HPのWebサイト <http://www.hp.com/go/integrityiLO> (英語) を参照してください。

このリリースの新機能

このリリースが、iLO 3 v 1.00 の初回リリースです。この製品は、iLO 2 をベースとしています。

新機能

iLO 3 v 1.00 の新機能は、以下のとおりです。

向上したパフォーマンス：

- リモート コンソールのパフォーマンスが8倍に向上しており、非常に優れたリモート管理パフォーマンスを実現
- 仮想メディアのパフォーマンスが3倍に向上しており、優れたパフォーマンスのリモート デプロイメントおよび更新を実現
- 優れたパフォーマンスの Microsoft Windows 内蔵リモート コンソール
- フル機能の Java 内蔵リモート コンソール
- 250MHz の iLO 3 プロセッサ
- 128MB の ECC DDR iLO 3 メモリ

洗練されたインターフェイス：

- JSON テクノロジーを使用した Web 2.0 インターフェイス
- リモート コンソール直接アクセスにより、クリティカルなシステムへの iLO 3 の迅速なアクセスを実現

拡張された規格のサポート：

- IPMI 2.0 over LAN/DCMI のサポートにより、多数のサーバーが配備された環境でのサーバーの操作を簡素化
- ハードウェア AES 暗号化により、パフォーマンスを低下させずに非常に強力なセキュリティを提供
- SNTP (Simple Network Time Protocol) のサポート

廃止された機能

- Telnet インターフェイス (複数の SSH セッションを使用できます)
- ターミナル サービス パススルー (iLO 3 の内蔵リモート コンソールのパフォーマンスと一連の機能によりこのサービスが不要になります)
- 仮想シリアル ポート用のアプレット (仮想シリアル ポートは引き続き SSH を通じて使用できます)
- 仮想メディア用のスタンドアロン アプレット (仮想メディア機能は Java 内蔵リモート コンソールおよび Windows 内蔵リモート コンソールに含まれています)
- リモート コンソール ホット キー (内蔵リモート コンソール アプリケーションは実際のキーボードのような機能をサポートします)
- c-Class BladeSystem ウィザード (BladeSystem ウィザードのサポートは BladeSystem Onboard Administrator によって提供されるようになりました)

インストールおよびアップグレードに関する注意事項

iLO 3 v1.00 のインストールとアップグレードに関する注意事項は、以下のとおりです。

インストールに関する注意事項

以下のいずれかのオプションを使用してファームウェアをインストールしてください。

- 更新するホスト上でコンポーネントを実行します。
コンポーネントは、iLO 3 ファームウェアを更新し、iLO 3 プロセッサをリセットします。
- コンポーネントからファームウェアを抽出します。
コンポーネントは、ファームウェアイメージファイルの iLO 3_yyy.bin (yyy はファームウェアのバージョンを表す) をターゲット ディレクトリに保存します。
ファームウェアが抽出されたら、以下のいずれかの方法を実行できます。
 - iLO 3 にログインし、[Update Firmware] ページに移動して、このページからファームウェアを更新します。
 - HP Lights-Out 設定ユーティリティ (CPQLOCFG) と RIBCL/XML スクリプトを使用して、ネットワーク経由で iLO 3 を更新します。
 - HP Online Lights-Out Configuration ユーティリティ (HPONCFG) と RIBCL/XML スクリプトを使用して、サポートされるホスト OS から iLO 3 を更新します。
 - Directory Migration Utility (英語) を使用します。このユーティリティは、HP Directories support for Management Processors (英語) に入っており、HP の Web サイト <http://www.hp.com/jp> にある iLO 3 ダウンロード ページの [ソフトウェアおよびドライバー] から入手できます。
この Windows ユーティリティは、Lights-Out プロセッサのネットワーク検出、インポート/エクスポート機能、および大量のファームウェア更新をサポートしており、ディレクトリの移行は不要です。

アップグレードに関する注意事項

(オプション) - 資料に示されているいずれかの問題修正がシステムに関係している場合、またはこのバージョンによって提供される拡張機能を使用する場合は、このバージョンに更新してください。このリリースが、iLO 3 の 1.00 ファームウェアの初回リリースです。このファームウェアは、iLO 3 専用です。このファームウェアは、iLO 2 や第 1 世代の iLO とは互換性がありません。

以下の機能は、iLO 2 製品に備わっていますが、iLO 3 製品には現時点では備わっていません。これらの機能は、将来のリリースで iLO 3 に追加される予定です。

- HP SIM シングル サインオン
- 暗号化されたスクリプト仮想メディア

以下の機能は、iLO 3 製品には現時点では備わっていません。これらの機能は、将来のリリースで iLO 3 に追加される予定です。

- IPMI Serial Over LAN のサポート
- Two-Factor 認証
- リモート カーネル デバッグ

サポートと他のリソース

『HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 v1.00 ユーザー ガイド』および『HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 v1.00 スクリプティング/コマンドラインガイド』は、HP の Web サイト <http://www.hp.com/jp/servers/ilo> にあります。[マニュアル] を選択し、[ユーザー ガイド] という見出しのリストから最新バージョンのマニュアルを選択してください。

機能の使用方法について詳しくは、オンラインヘルプを参照してください。ブラウザ Web ページからオンラインヘルプにアクセスするには、各ページの右上隅にあるクエスチョンマークをクリックしてください。